



怪しい訪問者に用心！

今回は怪しい訪問者の話です。4月の中旬、横浜市で水に使ってくださいと薬品を配っている、なぞの男たちが現れました。

都内でも2・3年前からあったらしいのですが、一時その目的をめぐって、いろいろな情報が飛び交いました。

悪質訪問販売業者や泥棒が在宅状況や家族構成を調べる口実ではないかと、テロ目的の毒物じゃないかと憶測されました。

折しも、岐阜県可児市では4月6日に、公営水道の配水塔のフェンスが切断され、

給水タンクのフタの鍵が壊されて、安全を確認するまで、給水を中止した事件があったばかりなのです。

幸いなことに、横浜の事件はリフォーム業者の営業目的であったことがわかりましたが、なんと人も人騒がせな事件でした。



写真1
実際に配られたものと同じパイプ洗浄剤

洗剤配るなぞの男たち

リフォーム業者の勧誘

神奈川県内の住宅に家庭用パイプ消臭・洗浄剤が配られ、警察などに問い合わせが相次いだ問題で、リフォーム関係の業者などが営業目的で配っていたことがわかった。横浜市のリフォーム業者は、読売新聞の取材に、配管洗浄工事などの勧誘のために配ったことを認め、「マンションのホールの一部を自ら壊して、修理代を稼ぐような悪質な業者もいる」と話している。業者によると、新規開拓の営業を兼ねて2〜3年前から消臭・洗浄剤の配布を始めた。住宅の配管洗浄工事を行うと、苦情が出ることもあり、工事前の朝に近所に錠剤を配っている。さらに、夕方「おまもどですか」と勧誘もしているという。同様の行為は複数業者が行っており、訪問販売で目的を隠して勧誘すれば、特定商取引法に触れるとの指摘もある。横浜市の業者は「法に触れるようなことはしていない」としている。

横浜市や神奈川県海老名市で「水道工事の濁り水対策」として、作業員風の男たちが住宅を訪ねて家庭用パイプ消臭・洗浄剤を配るところ、市水道局や警察に問い合わせが相次いでいる。市は「水道工事で洗浄剤を配布することはない」と話し、洗浄剤のメーカーも、見本として配ることはない」としており、何のために配っているのか首をかしげている。実際には工事が行われていなかった。

洗剤配る なぞの男たち

「水道工事対策です」とウソ

「水道工事をやっているの、においがしたら、錠剤を使ってほしい」と、青と白に色分けされた錠剤1個を渡すとした。市には23件の問い合わせがあり、うち21件で錠剤を置いていった。調べたところ、市販されているパイプの消臭・洗浄剤と判明した。

横浜・海老名で
問い合わせ続々

また、県によると、海老名市では今年2月ごろ、女性が、1人で訪ねてきた男から錠剤1個を受け取った。男はその日にもう一度来て、錠剤を使ったかどうか聞いたという。

読売新聞平成19年4月14日

水道水配水塔に侵入者か

毒物混入の恐れ 岐阜県可児市

6日午後2時15分ごろ、岐阜県可児市松伏の松伏配水塔の定期点検に来た業者が、周囲に張り巡らされた鉄製フェンスがカッターのような物で切断され、縦1メートル、横50センチほどの穴が開いているのを見つけた。

配水塔入り口の南京錠と、高さ約20メートルの塔のつべんにあるステンレス製のふた（直径60センチ、重さ4〜5キロ）の南京錠も壊されていた。配水塔は松伏地区の約460世帯に水道水を供給する施設。市は何者かが塔内のタンクの水に異物を混入した疑いもあるとして配水を停止。届け出を受けた県警可児署は不法侵入と器物損壊の容疑で捜査を始めた。

市はタンクの水約1000立方メートルをすべて排出するとともに水質を検査したが異常はなく、今のところ住民から健康被害の訴えもないという。

3月末の点検後に何者かが侵入したらしい。市によると、タンクの内部を洗浄し、7日午前6時ごろには配水を再開できるといった。

市は住民らに水を使わないように呼び掛けるとともに給水車7台を出動させた。水を受け取りにきた住民たちは不安そうな表情で「何があったのか」と職員に尋ねていた。

毎日新聞

平成19年4月6日



写真1 現場を調べる捜査員



カルシウムの収支バランス

カルシウムが吸収しづらいミネラルで、生きていくうえで必要不可欠なものであることはわかりました。それでは毎日のカルシウムの収支が、どのようになっているのか調べてみましょう。

体重50kgの人の体内には約1kg(1000g)のカルシウムがあります。そのうちの99%が骨と歯ですから、990gは骨と歯にあり、残りの10gが血液や筋肉、細胞など他の場所に分布しています。

カルシウム所要量の目標は、欧米など多くの国では800mg、1000mgとされていますが、日本では、それよりも少ない600mgです。

栄養所要量は5年ごとに改定されていますが、平成17年度から名前が「食事摂取基準」にかわり、「過剰摂取による健康障害の予防を考慮した「許容上限摂取量」も示されています。

新しい食事摂取基準では、成長期の8~9歳で700mg、11歳まで800mg、14歳まで900mg、17歳まで850mg、29歳まで650mg、それ以降は600mgが目標量になっています。

ところが実際に摂っている量は450~560mgと、以外に少ないことがわかります。それは酸性土壌の環境や食生活の変化などの要因と、カルシウム自体の吸収効率の問題があげられます。

カルシウム摂取 目安量・目標量 (mg / 日)

性別 年齢	男性			女性		
	目安量	目標量	上限量	目安量	目標量	上限量
1~2歳	450	450		400	400	
3~5歳	600	550		550	550	
6~7歳	600	600		650	600	
8~9歳	700	700		800	700	
10~11歳	950	800		950	800	
12~14歳	1,000	900		850	750	
15~17歳	1,100	850		850	650	
18~29歳	900	650	2,300	700	600	2,300
30~49歳	650	600	2,300	600	600	2,300
50~69歳	700	600	2,300	700	600	2,300
70歳以上	750	600	2,300	650	550	2,300

日本人の食事摂取基準2005年版

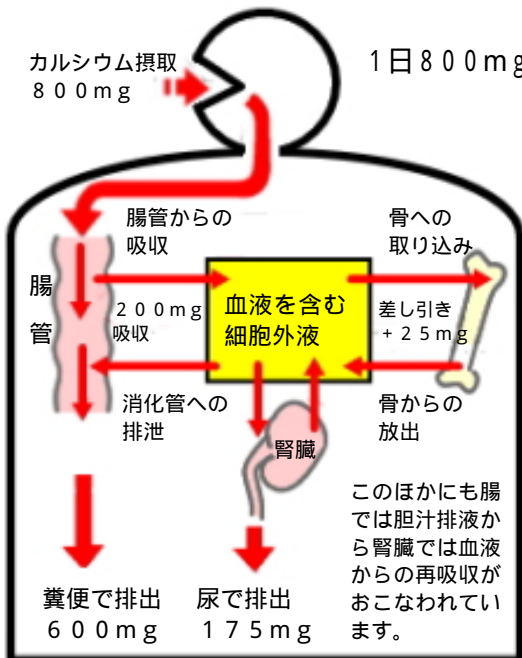


正味の吸収量と排泄量

仮に1日600mgのカルシウムを摂っても、そのうち吸収されるのは100~200mgくらいといわれています。下の表は腸管でのカルシウム吸収量と尿から排泄される量を表しています。あくまで計算上ですが参考にご覧ください。

インスタント食品や食品添加物、タバコや酒などカルシウムを消費するものを多く摂取している人のカルシウム収支は、1日30mgぐらゐの赤字になっているといわれています。このペースで赤字が続くとどうなるでしょうか。

1日800mg摂取したときの体内でのカルシウム収支バランス

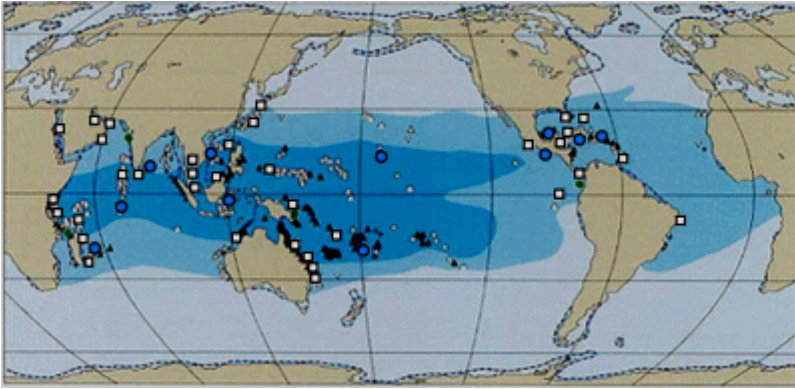


カルシウム 摂取量 (mg / 日)	腸管での 正味の吸収量 (mg / 日)	尿からのカル シウム排泄量 (mg / 日)	カルシウム バランス (mg / 日)
300	60	140	-60
500	130	145	-15
560	150	150	0
600	170	160	+10
800	200	175	+25
1000	230	180	+50
1500	300	200	+100

欧米では閉経期を過ぎたら2000mgのカルシウム摂取を提唱している国もあるほどです。日本でも、更年期以降の女性の場合は1日に、1200mgを摂らないと収支バランスが崩れるといわれています。

1ヶ月で900mgの赤字になり、一年の累積赤字は約10gになります。これが40年続いたら400gのカルシウムが消えることになり、骨のカルシウムを990gとして計算するとそのうちの4割が骨からなくなってしまうのです。

世界のサンゴ礁に深刻な状況がひろがっている



年々深刻化しているサンゴの白化現象ですが、沖縄だけの話ではありません。それ以前にも東南アジア、インド洋・モルジブ、アフリカ東海岸、グレートバリアリーフ、カリブ海と、すでに世界各地でおこっていました。

世界規模で見たとき、その原因として考えられているのが過去最大規模のエルニーニョですが、それに留まらず、過去80年間の冬の海水温上昇、北半球の気温上昇など、さまざまな地球温暖化の現象が影響していると考えられます。

サンゴの異変は、地球規模の気候の大変動の予兆を映し出しているのかもしれない。

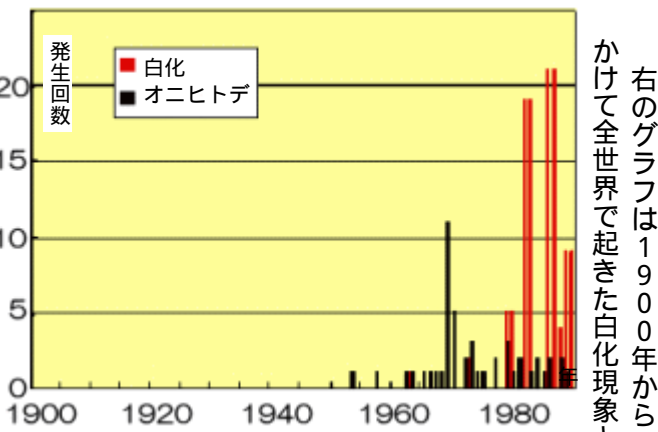
上の地図は世界のサンゴの白化の状況を表しています。海上の青い部分がサンゴの生息範囲です。白いの部分は深刻な白化が認められた地域です。青いは白化が認められる地域です。これを見ると世界中のサンゴが深刻な状況になっているのがわかります。

サンゴ礁の減少は、すでに全世界で10〜20%にも及び、年々5%程度の割合で広がっています。

これには海水温の上昇と人間の様々な活動が大きく影響しています。

陸で森林が保水やCO₂の削減に貢献しているように、海ではサンゴ礁が同じような働きをしています。サンゴ礁は地球環境の保全になくてはならないものです。

大規模なサンゴの白化現象の報告は1980年代以降急激に増加しています。地球温暖化のシミュレーションで予想される海水温の上昇と、過去にサンゴの白化を引き起こした海水温をあわせて考えると、今後サンゴの白化の頻度はますます高くなると思われます。



右のグラフは1900年から1990年にかけて全世界で起きた白化現象とオニヒトデの大発生の回数です。

オニヒトデの被害が1970年頃から減少しているのに対し、白化現象は近年になって急激に増加しているのがわかります。

サンゴ礁は熱帯雨林と同じように地球上の二酸化炭素を調節しているといわれています。サンゴの体内に共生する褐虫藻の光合成がCO₂を吸収して酸素をつくっています。一説によると、地球上の二酸化炭素の65〜70%をコントロールしているともいわれています。

サンゴのはたらきが、地球温暖化などの環境全体に果たす役割についての数値的な裏付けはまだはっきりわかっていませんが、温暖化の防止に大きな役割を果たすことは間違いのないことでしょう。

またサンゴ礁には多種多様な生物が生息しています。まさに海洋生物の生態系を支える大切な環境です。サンゴ礁のある海は酸素と栄養分に富み、様々な生物の楽園となって、巨大な生態系を形成しています。

このようにサンゴ礁は海や海洋生物にとって、かけがえのない存在です。サンゴが死滅・減少するということは、海の生態系が変化してしまうほど大きな影響を及ぼすのです。



海洋生物の楽園 サンゴ礁



みんなでつくる Q&Aコーナー

お寄せいただいた質問の中から、みんなで知っていたほうがいいと思うものを紹介させていただきます。(皆様の質問をお待ちしています。)

Q

「さわやか」や「カートリッジ」に銀が使用されていますが、銀はからだにとって、害にはならないのですか？

A

一部の浄水器関連業者で銀の有害説を強調している会社があると聞いています。

最近銀を使ったデオドラント製品や消臭剤など、数多く見かけるようになっています。細菌を殺してしまうようなものなら、人体にも悪影響があるはずと思うのはもっともな考えですが、実は銀(元素記号 Ag)は、抗菌剤だけではなく食品添加物としても認可されているのです。

銀は食器として使用されたり、入れ歯に純銀を使用したり、目の感染症の治療薬として硝酸銀溶液を使用したりするなど、はるか昔から私たちのまわりで使われてきました。

そもそも、銀イオンは体内に入っても塩化物イオンと結合して不溶性の塩に変わります。

銀イオンは胃酸の中の塩酸に触れるとたちどころに不溶性の塩化銀(AgCl)となり、人体に吸収される心配はありません。もし飲み込んだとしても、そのまま体外に排出されます。

時々、水俣病の原因となった「水銀」を「銀」と勘違いして、銀まで有毒だと思い込んでいる人がいますが、銀は有毒な水銀(Hg)とは元素記号が違うように全く違う物質です。(歯科で問題を指摘されているアマルガムは、銀35%以外に含まれている、スズ9%・銅6%・少量の亜鉛に水銀50%が問題なのです。)

ごく身近な例としては、ケーキなどに使われる製菓材料のアラザンや、仁丹の表面の銀色にも銀が使われています。外国では直接、飲料水の殺菌に利用している国もあるそうです。

日本では水道法の水質基準で、有害性が認められる金属イオンについては、指標値が決められています。銀に関しては除外されています。

外国の例でもカナダでは当初0.05mg/Lの規制値がありましたが、1989年の飲料水品質ガイドラインからは銀を削除しています。

アメリカの水質基準は日本とは比べ物にならないくらい厳しく定められています。(基準項目は日本で50項目・アメリカは263項目にさらに100項目の追加が検討されています。)

アメリカでは人体に対して少しでも有害と判明したものは、たとえ1項目でも即刻、基準項目に盛り込まれるそうです。

その厳しいアメリカの米国環境保護局(USEPA)の飲料水規則でも、基準項目(守らなくてはならない項目)に銀は入っていません。

ただし、推奨基準(必ずしも守らなくてもいい項目)に0.1mg/Lの規制値があるのみです。

3月25日の能登半島沖地震の記憶も新しいところですが、今度は4月15日、三重県で震度5強の地震がありました。

被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。

両地震の被災地域にお住まいのお客様の中で、本体の破損、その他の不具合が発生しているケースがあると思います。

日頃からご愛用いただいている大切なお客様へ、少しでも感謝とお見舞いの気持ちが通じますように、代理店の皆様と協力して対処させていただきます。

落ち着いてからでも結構です。該当されるお客様がおられましたら、遠慮なくご相談ください。紙面を借りてお願い申し上げます。

【編集部】

サンゴ浄水器を長年にわたって、ご愛用いただいている都内の方から、お便りをいただきました。

その中にこんな文章が入っていました。浄水場見学会の案内が閲覧板でまわってきたときに、それを見た小学2年生のお孫さんが、書いたレポートだそうです。

お水について、おじいちゃんがお話したことをちゃんと覚えていたようですね。

瀬下実歩ちゃん、これからもいいお水をたくさん飲んで、

お水の大切さを勉強してくださいね。ほほえましい内容だったので紹介させていただきます。

水のあじは、においおまじ、カルシウムやミネラルなどのミネラルのにおいによちがいます。